

別表3

	現時点での合併検討の意向等について	合併が想定される具体的な組み合わせ	理由
大網白里町	①検討したい(期間にこだわらず) 住民の合併問題への認識の深まり度合いや合併の枠組みの方向性が一定に定まっていない状況では、住民の理解と合併に関する周知活動を行うことが優先されるため。	東金市、九十九里町及び大網白里町	山武地域における行政上の結びつき(一部事務組合による事務処理)旧法下での県による合併重点支援地域の指定、任意協議会の参加
		千葉市及び大網白里町	平成16年2月に実施した「市町村合併に関する住民意識調査」において、将来の合併の枠組みで望ましい組合せとして「主に千葉市を中心とした枠組み」が最も多かった。
		長生・山武地方拠点都市地域整備推進協議会(※1)の構成団体全てによる合併	総務省「自主的な市町村の合併を推進するための基本的な指針」の構想対象市町村の組合せにある「更に充実した行政権能等を有する…中核市…」を目指す市町村」像に合致
東金市	③どちらとも言えない 本市は平成16年11月28日に「1市4町1村合併の是非を問う住民投票」により、市民が合併をしない選択をしていることから、合併に頼らない自立のまちづくりの確立に向け推進していることとしている。	現状では考えていない。	住民投票の結果は重いと判断している。
九十九里町	①検討したい(できるだけ早期に) 山武地域は、来年の3月に誕生する山武市あるいは横芝光町を除けば、東金市・大網白里町・九十九里町の1市2町となる。しかしながら先に統投の意思表示をした東金市長は自立の方向性を打ち出しており、単独市制を目指した大網白里町は2次合併を視野に入れた方向性を模索することを示唆している。こうしたことから、今後の対応としては議会・住民のコンセンサスを得てから判断したい。	東金市・九十九里町	住民の通勤・通学あるいは商業圏、さらには地理的要因等を考慮すれば、現状では東金市が想定できるのでは。
		東金市・大網白里町・九十九里町	将来的には山武地域が一体となった合併が理想と思われるが、来年誕生する山武市との合併を考えれば1市2町の合併も想定できるのでは。
茂原市	①検討したい(できるだけ早期に) 急速に進展する少子高齢化、財政状況の悪化に対応するため。	茂原市・一宮町・睦沢町・長生村・白子町・長柄町・長南町	広域市町村圏組合の構成団体であり、各市町村の日常生活圏である。
白子町	①検討したい(期間にこだわらず) 長生郡市7市町村で合併することが理想である。しかし、そのためには一度破綻したこともあり相当の期間を要すると思われる。	長生郡市7市町村	生活圏に一体感があり、長生郡市広域市町村圏組合で共同処理を行っているため。
千葉市	②検討しない ・本市にとっての特段のメリット、必要性が感じられないため ・直近の状況として、隣接市である四街道市との合併に至らなかった経緯があり、その後の合併を進める気運も見受けられない。	(特になし)	

合併検討の意向と合併が想定される具体的な組み合わせについて

「現時点での合併検討の意向等について」の設問に対して、本町は「検討したい」、

その理由として「住民の合併問題への認識の深まり度合い」や合併の枠組みの方向性が一定に定まっていない状況では、住民の理解と合併に関する周知活動を行うことが優先される」と回答しました。また、合併時期については、「期間にこだわらず」と回答しました。さらに、「合併が想定される具体的な組み合わせ」の設問に対して、本町は「東金市・九十九里町・大網白里町、千葉市・大網白里町、長生・山武地方拠点都市地域整備推進協議会の構成団体全て」の3パターンを挙げ、6市町の回答は別表3のとおりです。

※1の構成市町村(平成18年3月)…長生(茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町)、山武(東金市、山武市、大網白里町、九十九里町、芝山町、横芝光町)

(注)「現時点での合併検討の意向等について」の設問については、①検討したい、②検討しない、③どちらとも言えないの中から選択し、理由を記述。また、①についてはさらに、(できるだけ早期に、2、3年後までに、法定期間内に、期間にこだわらず)の4つから選択。

千葉県の市町村(平成18年3月)



旧合併特例法下での合併市町

市町村合併の現状

本町が合併を進めていく場合、その対象となる自治体が合併についてどう考えているのかという点は重要となってくると思われます。

合併については、相手があつて初めて成り立つことであることは言うまでもありませんが、ヒアリング調査結果のように、隣接する自治体の考え方はさまざまであることが伺えます。このようなことを踏まえ、合併についてどのような働きかけを本町が行えるかということは大変難しい状況にあるということをご理解願います。

千葉県の取り組み

平成17年4月1日に、いわゆる「合併新法」が施行されました。このことにより、新制度の下では国が合併を推進するための基本指針を策定し、県はその基本指針に基づき、市町村の合併の推進に関する構想を策定するよう定められています。

基本指針では、県に審議会の設置を求めていることから、合併構想を策定するための第1回審議会が平成17年11月18日に開催。第2回目の会議は平成18年2月17日に開催され、第3回目の会議は6月2日に予定されています。合併の枠組みなどが盛り込まれた構想は本年の秋をめどに県が公表する予定となっています。

市町村合併の情報公開

本町は、今後も市町村合併に関する動きについて、随時情報提供を行ってまいります。市町村合併に関する町議会での質疑応答の詳細については、役場1階の行政情報コーナーと町ホームページで議事録を閲覧することができます。

企画政策課企画調整係 ☎(0)315

・千葉市との枠組み
千葉市長から議会へ付議しない旨の回答があり、一連の手続きは終了

●平成14年12月25日

・山武地域との枠組み
山武地域7市町村合併任意協議会を設置

●平成15年1月19日

※その後、成田市を中心とした「成田地域任意合併検討協議会」に蓮沼村・松尾町が加入(松尾町はその後脱退)。山武地域の枠組みそのものが流動的に。また、当時の町議会合併問題研究会で、東金市を含めた山武地域との合併について問い掛けた結果、賛成者なし

●平成15年2月26日

・山武地域との枠組み
大網白里町・蓮沼村が山武地域7市町村任意協議会から離脱(理由等については平成15年4月1日号に掲載)

※その後、東金市の住民投票による結果を受け、合併協議会の解散。再度の合併協議会設置により、最終的に成東町、山武町、蓮沼村、松尾町の4町村による合併(山武市)に至る

●平成15年4月1日

広報にて合併特集号を発行

●平成15年4月29日

中西啓之都留文科大学教授による講演会等を開催(参加者296人・テーマ「将来のまちづくりと合併について」)

●平成16年2月16日～29日

市町村合併に関する住民意識調査を実施(約14,000世帯を対象)。